

関東上陸地支局

昭和二十年

二月十一日

史実調査参考資料報告

摘要

所属部隊

(個) 第三師團兵務部

職

部員

官

技中少

終戦時ノ主  
ノヲ記ス

右所在地

宮古島

氏名

[Redacted Name]

支那事変以  
降ニ於テ自  
己ノ略ヲ

昭一四、五(前長)支那事変参加 昭一六、七 近山南有終停  
昭一六、七 陸軍兵務部員  
昭一八、一 陸軍科学学校内務員 外学生  
昭一九、一 陸軍科学学校  
昭二〇、三 陸軍科学学校

職ノ変更及  
至ニハ参加  
戦斗名ヲ  
記ス

所属部隊ノ  
編成年月日  
及編制裝  
備ノ概要

昭一五、八、二 第三師團編成

所属部隊作  
戦経過ノ概

昭一、九、七 宮古島防衛  
天一等作戦参加

最後ノ所属  
部隊ヲ至ニ  
之ヲ以テ前  
ノ所属部隊  
ノ分ニ概記  
ス

終戦(又ハ主力  
戦斗終了)  
後ノ概況

自活ニ重々傾向

帰還輸  
送ノ概況ヲ  
記ス

帰郷(又ハ連  
絡)先

[Redacted]

無

其他ノ参  
考事項

ナ

無

備考

将校ニ部宛記載セシメ才一復員者史実部ニ送付ス

無

内地帰還ニオリテ

感 昭和十一年 二月 九日

所属部隊 第一師團 兵器部

所在地 宮 一古 島

官 陸軍技  
級 一等曹長  
氏 名



二月九日午前十時懷し内地南勢に上陸す只之感此量の  
 外何物もなし。先か内地語を耳にし左時故國に帰つる  
 嬉しと胸に砂み彼れ地に墮水し幾多の戦友同胞に別  
 只誓すや宴福を祈りしを得ず感涙にむせび荷  
 物も卸下終つて牧畜所に日向の連中 頑見を多  
 子供も悉くおと多隊をい出苦勞ありと願ま下げ  
 分戦後内地代更に對し色々想像してききか  
 くる像外ありき。細部は行は果し如何  
 哉と恥しき思ひを抱き牧畜所に入る

関東上陸地支局

昭和十一年二月九日

史実調査参考資料報告

摘要

所屬部隊	右所在地	職	官階	姓名	終戦時ノモ ノヲ記ス	摘要
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制表 備考概要	茨那事変以 降ノ於テ自 三ノ略ヲ	昭和十一年七月第一團境守備隊第三中隊 加歩兵隊長 昭和十七年七月前死シ職ニ任命セラル 現英ニ到ル		宮 吉島		最終ノ所屬 部隊ヲ至ニ シ尚以テ前 ノ所屬部隊 ノ合ヲモ ノヲ記ス
所屬部隊作 戦経過ノ概 要						自北ニ專念ス 未だ依リ浦上ニ輸送セズ
終戦又ハ主力 ノ戦ヲ終了 後ノ概況						帰還輸 送ノ状況ヲ モ併記ス
歸郷(又ハ連 絡)先						
其他ノ参 考事項						
備考						將校ニ對シテ記載セシムル一復員者史実部ニ送付ス

関東上陸地支局

昭和十一年 二月九日

史実調査参考資料報告

摘要

所属部隊

皇軍第一師團兵隊部

職名

書記

官階  
一等兵

右所在地

宮古島

氏名

[Redacted Name]

終戦時ノ  
ノ記ス

夫那平夜以  
降ニ於テ自  
己ノ略ヲ

昭和十一年八月第一師團輜重兵隊分隊長(自那平)ノ職ノ変更及  
トシテ北支那大同会我ニ参加同十有餘月  
帰還昭和十一年八月第一師團兵隊部書記  
トシテ轉任以て後現在ニ到ル

戦斗名ヲ  
記ス

所屬部隊ノ  
編成年月日  
及編制表  
備考概要

昭和十一年八月第一師團新編成

所屬部隊作  
戦經過ノ概

宮古島ニ於テ陣地ヲ構築セルノ  
特別ノ戦ヲ行ハス

最後ノ所屬  
部隊ヲ至ニ  
之尚ソ以前  
ノ所屬部隊  
ノ分ヲ概記

終戦(又ハ主力  
ノ戦斗終了)  
後ノ概況

兵春奉還業務ニ自任ニ従事ス  
昭和十一年三月宮古島ヨリ米船ニ依リ  
輸送セラル

帰還輸  
送ノ概況ヲ  
モ併記ス

帰郷(又ハ連  
絡)先

[Redacted]

其他参考  
事項

ナシ

備考

将校ニ宛テ記載セシメテ一復員者史実部ニ送付ス